

P60

1) カーテン・カーペットなどに表示される「抗ウイルス加工 SEK マーク」

「SEK マーク」は、(一社)繊維評価技術協議会(JTETC：略称・織技協)が定めた機能性と安全性のそれぞれの基準に合格した各種の機能加工繊維製品に提供されるマークです。インテリア製品ではカーテンやカーペット、ラグなどが対象となります。

「SEK マーク」のスタートは1989年のことです。1980年代はじめに「防菌防臭加工」の靴下が流行しましたが、メーカーによって試験方法や評価基準が異なっており、消費者に混乱が生じてしまいました。そこで1983年に「繊維製品衛生加工協議会」<現在の(一社)繊維評価技術協議会>が設立され、評価方法、評価基準等を統一する基準を制定し、1989年8月から「SEK マーク」の認証が開始されました。

「S=清潔」「E=衛生」「K=快適」を意味しています。SEK マークは日本人が長く培ってきた「きれい好き」の文化を背景に、国内に止まらず海外でも徐々に広がっています。

「SEK マーク」は「抗菌防臭加工」からはじまりましたが、現在「制菌加工」「抗かび加工」「光触媒抗菌加工」「消臭加工」「光触媒消臭加工」「防汚加工」「紫外線遮蔽加工」「特定タンパク質低減加工」の全9種類の機能を評価し、繊維業界における統一基準となっています。

同じマーク、異なるカラーでそれぞれの用途や性能・効果を表していますが、そのうちの1つとして、2015年に認証をスタートしたのが黄色の「抗ウイルス加工 SEK マーク」です。

「抗ウイルス加工 SEK マーク」の目的は「繊維上の特定ウイルスの数を減少させる」ことで、病気の治癒や予防ではありませんが、多岐にわたる繊維製品で展開されています。

「SEK マーク繊維製品認証基準」には各 SEK マークの認証基準や試験方法、表示方法等が定められていますが、抗ウイルス加工については、JIS L 1922(繊維製品の抗ウイルス性試験方法)に基づいています。これまでマークは1種類でしたが2024年10月より基準値の違いによって2種類のマーク(Excellent effect と Good effect)になりました。従来の抗ウイルス加工マークは Excellent effect に引き継がれ、新たに Good effect が設定されました(従来の抗ウイルス加工マークは2027年9月30日まで使用可能)。

JIS L 1922 では抗ウイルス効果を示す指標に抗ウイルス活性値が採用されています。抗ウイルス活性値はウイルスを接触した直後の綿標準布(\*1)と25℃で2時間静置後の「特定のウイルスの数」を比較し、常用対数値の差で表わした数値です。JIS L 1922 では、抗ウイルス活性値が3.0以上及び2.0以上3.0未満の2つの効果が定められました。3.0以上ではウイルス数が千分の1以下に減少したことを示し「十分な効果あり」と表され、SEK マークでは従来この数値が認証の基準値として規定されてきました。その一方で、JIS L 1922 では抗ウイルス活性値が2.0以上ではウイルス数が百分の1以上減少したことを示し、「効果あり」と定められています。このため、3.0以上を Excellent effect、2.0以上3.0未満を Good effect として SEK マークに追加されました。

\*1：標準布とは（一社）繊維評価技術協議会が抗菌試験用標準布（綿）として販売している JIS L 1902 3.1 のただし書きにある JIS L 0803 添付白布（綿 3-1 号）を水洗浄処理したものです。

また、試験対象ウイルスは、ウイルスの表面にあるエンベロープといわれる膜状の構造の有無の違いにより選択されています。エンベロープがあるものの代表として「A 型インフルエンザウイルス」、ないものの代表として「ネコカリシウイルス」が採用されました。「抗ウイルス加工 SEK マーク」の評価項目における「特定ウイルス」はこの 2 種類を指していますが、新型コロナウイルスは含まれていません。

「抗ウイルス加工 SEK マーク」は、このうちのいずれか 1 つ、あるいは両方のウイルスに対して効果が認められた場合に、該当製品に「抗ウイルス加工 SEK マーク」のを付けることが認められます。

他方、加工剤および製品の両面からの評価により安全性を重視されているのも特徴です。

なお、後述の薬機法や景品表示法の優良誤認への抵触を避け、消費者から誤解を招かないように、次のように表示上の制限が設けられています。

- ・ウイルス名の記載はパンフレットや説明書等にも一切禁じられている
- ・マークの近傍に「抗ウイルス加工は病気の治癒や予防を目的とすることではありません」及び「抗ウイルス加工はウイルスの働きを抑制するものではありません」と記載する

さらに、SEK マークは各種のサーベイランスや試買テストにより品質管理状況が確認され、認証後もマークの信頼性の保持に注力しています。